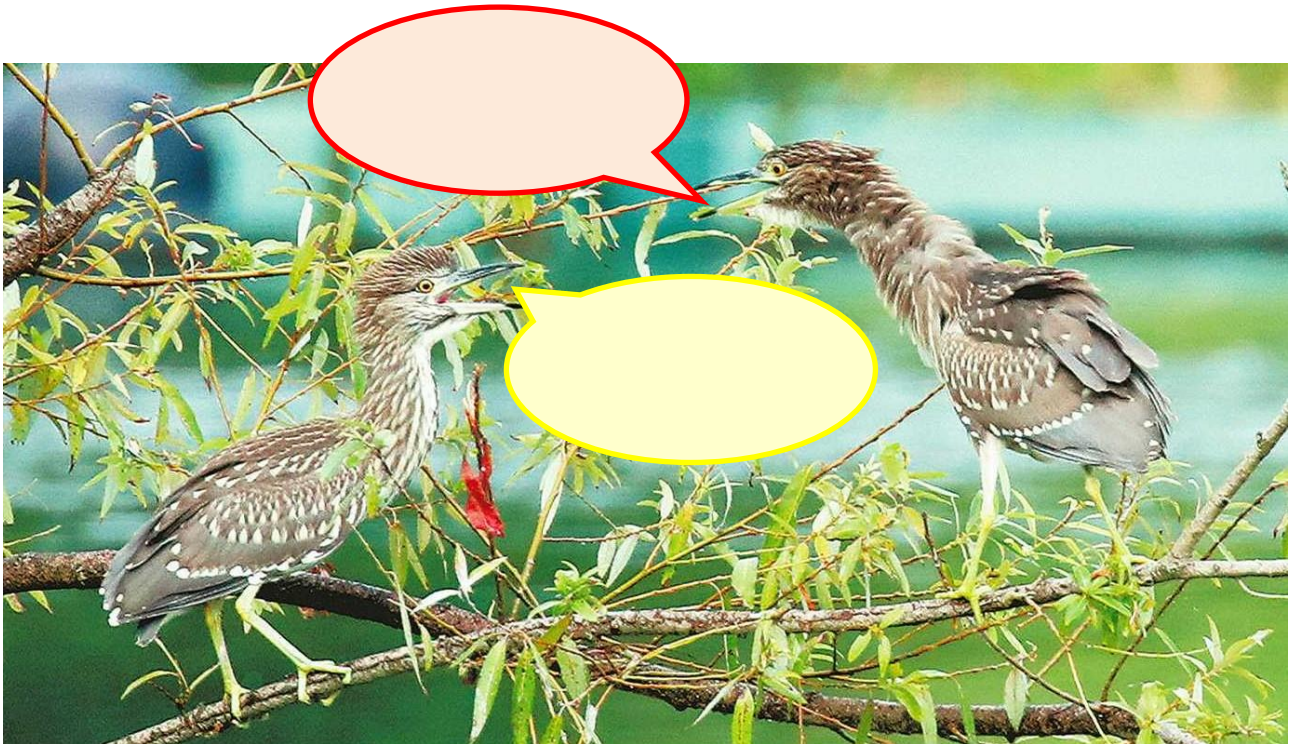


年 組 名前

2020年10月25日付滋賀版



湖山探鳥

幼子は星をまとう

ゴイサギの幼鳥は、全身が褐色の羽毛で、星をちりばめたような白い斑点があることから「ホシゴイ」とも呼ばれる。成鳥は白と青っぽいグレーのツートンカラーで、目も赤い。あまりにも違いすぎて、別の種類かと思ってしまう。

(米原市で、写真・文＝横田信哉)

＝随時掲載します。

※ おとなひときじよかんが 大人の人に記事を読んでもらって考えましょう。



ア



イ



ウ

問1 : ゴイサギの成鳥は、^{せいちょう}アイウのどれでしょう。 ()

成鳥とは、じゅうぶん^{とり}にそだった鳥のことです。

問2 : 二羽の鳥は、^{はな}どんなことを話しているのか^{そうぞう}想像して、^ふ吹き出し^だに^か書きましょう。

【活用にあって】

記事には、「幼鳥」「褐色」「羽毛」「斑点」など難しい言葉がいっぱいです。大人の人は一語一語説明するのではなく、そのまま読みます。その後、もう一度読みます。今度は意味を説明しながらです。子どもから「これって、どういうこと」という質問が出たら最高です。

説明は写真で確認することです。具体的なものと言葉をつなげることが大切です。「斑点」であれば、写真のこの部分のことだよと話します。「ツートンカラー」は「二つの色の組み合わせ」ということを、自動車や電車の車体などで説明します。

解答例

問1：①（アはダイサギ、ウはキビタキです）

問2：「おなかすいたね」「ぼくもだよ」

「いっしょにあそぼうよ」「なにしてあそぶ」

など想像する楽しさを実感したいですね。